

かけかわ

令和6年11月1日

第92号

令和6年8月
定例会の内容を
お知らせします。

市議会だより



おもな内容

- P2 令和5年度決算の審議内容
- P3 議会改革特別委員会政策提言
- P4 令和6年度補正予算等の審議内容
- P5 審議結果一覧
- P6 請願、陳情、意見書／市議会役職の変更
- P7 一般質問
- P12 今後の議会予定／議員研修会／傍聴席／表紙の説明／編集後記

令和5年度決算の審議内容

一般会計歳入総額	520億9,684万円
歳出総額	500億8,498万円
特別会計歳入総額	253億5,487万円
歳出総額	242億4,386万円



令和5年度は「人と環境の持続可能性への取り組みを推進する予算」に基づき、総合計画【ポストコロナ編】の施策展開を踏まえ、「未来に向けてチャレンジできるまち」の実現を目指すものとして、特にポストコロナ時代における社会変革を鑑み、SDGs及びDX推進に対応した取り組みとなりました。中でも、『未来チャレンジ事業』では、市職員の提案枠の新規事業に加え、高校生チャレンジ公募事業も実施されました。戦略的かつ効果的なデジタル化による変革を推進させつつ、誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化による、公平かつ多様な幸せが実現できるように取り組みました。

予算決算委員会では、令和5年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について以下の附帯決議を可決しました。

附 帯 決 議

広域連携によるシステムの共通化や情報共有など、コスト縮減を図ること

※附帯決議を付けることで、施行についての意見や希望などを表明することができます。

予算決算委員会における主な討議内容

- DXの開発にかかるコスト縮減を広域化によって目指してほしい。
- システム開発や保守にお金がかかっていることはわかるが標準化には反対、自治体としての独自施策を広げることがやりにくならないか懸念がある。
- 技術職などの専門職採用が難航し通年採用を行っているが、公務員の魅力や掛川市の魅力を伝える活動を強化してほしい。
- 行政としての公平性、予算金額の付け方が気になる点もある、多種多様な農業生産者への支援の在り方や、松ヶ岡整備がふるさと納税に委ね過ぎなど配慮が必要である。
- 個別事業に大きな問題はないものの、中長期計画を立てていないため将来の目標が不明確であり年次計画が必要である。
- 決算書の評価指標や成果と課題は次につなげられるように改めていく必要がある。

予算決算委員会 主な質疑

総務分科会

Q 財務体質は改善されてきている一方、必要な投資が十分にされていないのではという懸念があるが、見解を伺う。

A 予算編成ではバランスを重視してきたが、防潮堤など市民の安心・安全に関わる投資は、可能な限り行ってきたと考えている。



Q 救急活動費について、機動日勤救急隊（仮）導入の検討状況を伺う。

A 日中の緊急を補完する部隊の設置や、人員不足時の南消防署への救急隊の移動など、多様な運用方法を考えている。



環境産業分科会

Q 区長会連合会活動支援費について、情報ツールとしてタブレットを自治区へ配布した構想はよいが、行政として活用度合いは把握しているのか。

A 理事区長は、区長会連合会出席時の連絡ツールに使用している割合が高い。その他の区長の未利用者数は把握している。



Q 果樹園芸農家等振興事業費について、本市は全国でも有数のメロン産地であり、品評会での評価が農家の意欲を向上させる。温室組合への支援の内容を伺う。

A 担い手の減少、部材単価や燃料費の高騰で厳しい現状であるが、産地の継続が大事であることから負担金等で支援をしている。



文教厚生分科会

Q 個別接種事業費について、子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種が9月末で終了するが、未接種者への対策を講じるべきではないか。

A これまでは接種間隔が6か月で3回接種だったが、特例措置として4か月で3回接種が可能となるので、11月末までに1回目を接種すれば公費負担が受けられる。



Q 部活動地域展開推進費について、管理委託料1700万円の詳細を伺う。

A スポーツ協会と文化財団に、公認クラブの運営を委託し、指導者の研修会や事務的な業務を依頼している。



議会改革特別委員会 政策提言

議会改革特別委員会では、令和5年度から、より活発な議論ができる市議会になるよう調査研究を行ってきました。

令和6年7月2日に予算・決算説明資料の書式について、評価指標や過年度の比較等を行いやすい書式を市議会として独自に作成し市当局に提言しました。



提言書の内容を市長へ説明

補正予算等の審議内容

令和6年度一般会計補正予算（第3号、第4号、第5号）の概要

補正額（第3号）	3億3,746万円
（第4号）	5,794万円
（第5号）	5億6,378万円
補正後の予算額	577億3,253万円

第3号は、6、7月の大雨災害に伴う施設修理及び災害復旧工事（農業用施設、横須賀城跡本丸東側斜面等）と新型コロナワクチン定期接種に伴う委託料等の追加のための補正予算です。

第4号は、適正なごみ処理等啓発事業の委託料、たまり～なの空調設備改修工事費や原野谷学園小中一貫校整備事業費の増額のための補正予算です。

第5号は、台風10号に伴う施設修理及び災害復旧工事（板沢最終処分場、森林果樹公園、農業施設、河川道路等）および、栗ヶ岳トイレ整備事業費補助金追加の補正予算が急ぎょ組まれました。

補正第3号

予防接種事業費 2億204万円

65歳以上及び60歳から64歳までの重症化リスクの高い方への新型コロナワクチン定期接種の委託料等の追加

主な質疑

Q 予防接種事業費について、今回の接種助成対象外の方は、接種可能か。

A 接種希望者は任意接種として接種可能である。全て自己負担となる。



大雨災害に伴う施設修理及び災害復旧工事 1億3,542万円

6月28日及び7月16日の大雨等により多数の公共施設等が被災したため、施設修理等の災害復旧費

主な質疑

Q 農業施設災害復旧事業費及び林業施設災害復旧事業費について、今回の補正予算は崩土の除去だけか、擁壁工事などは含まれていないか。

A それぞれの箇所により対応するが、基本は現状復旧工事のみである。



補正第4号

22世紀の丘公園管理費 増 5,800万円

たまり～な屋内遊び場の開業予定時期が早まり、再整備事業の整備工事と空調設備の施工を同工期で行うための改修工事費

主な質疑

Q 16台の空調設備改修工事費の追加は、屋内遊び場だけのものか伺う。

A 屋内遊び場の整備区域と同じ系統で稼働する周りの室外機も改修する。



消防団活動費 増 1,266万円

消防団再編に伴う消防指令システムの開発費、分団センターの看板やポンプ車両に係る改修費



主な質疑

Q 消防団再編に当たり、対象の分団や地域の評価はどうか。また、その評価をどのように受け止めているのか伺う。

A 第1期の大東・大須賀区域と中山間地域対象の分団では、昨年説明し理解を得ている。第2期の中心市街地の再編については、地域と協議を重ね進めていく予定である。

原野谷学園小中一貫校整備事業費 増 923万円

小中一貫校建設における国庫補助要件となる耐力度調査を行うための調査委託料



主な質疑

Q 耐力度診断について、原野谷学園小中一貫校の建設地の地元合意が得られていない状況の中で、補正予算を急ぐ必要があるのか。

A 国庫補助の対象とするため、建設地についての地元合意が得られたら、速やかに実施できるよう本定例会で予算化したい。

8月定例会における審議結果一覧

審議の結果、決算を17件、予算を8件、条例を2件、その他を7件、人事を1件、報告を2件、請願を1件、議発を4件可決しました。

■全会一致で可決・認定・同意・受理・採択

予 算	令和6年度掛川市一般会計補正予算(第3号)について	決 算	令和5年度掛川市公共用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和6年度掛川市一般会計補正予算(第5号)について		令和5年度掛川駅周辺施設管理特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和6年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について		令和5年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和6年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)について		令和5年度上西郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和6年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第1号)について		令和5年度桜木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和6年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算(第1号)について		令和5年度東山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
そ の 他	令和6年度東山財産区特別会計補正予算(第1号)について	報 告	令和5年度佐束財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市二の丸美術館)		令和5年度倉真財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市ステンドグラス美術館)		令和5年度掛川市水道事業会計決算の認定について
議 発	令和5年度掛川市水道事業会計剰余金の処分について		令和5年度掛川市簡易水道事業会計決算の認定について
	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬の見直しを求める意見書		令和5年度掛川市公共下水道事業会計決算の認定について
	地震財特法の延長に関する意見書		令和5年度掛川市農業集落排水事業会計決算の認定について
人 事	GIGAスクール構想による一人一台端末や通信環境の整備・維持、ICTを活用した教育の振興のため、恒常的な国の支援策創設に関する意見書	請 願	健全化判断比率の報告について
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		資金不足比率の報告について
		請 願	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に働きかけることを求める請願書

■賛否の分かれた議案(賛成多数可決) ○賛成 ×反対

議 案 名	議 員 名	創 世 会										新しい風		SKK＊	共産＊		共掛＊		志＊		
		松 本 均 ＊	高 橋 篤 仁	鷺 山 記 世	安 田 彰	山 田 浩 司	橋 本 勝 弘	石 川 紀 子	寺 田 幸 弘	藤 原 正 光	二 村 禮 一	嶺 岡 慎 悟	藤 澤 恭 子	松 浦 昌 巳	窪 野 愛 子	山 本 行 男	大 井 正	勝 川 志 保 子	富 田 ま ゆ み	鈴 木 久 裕	草 賀 章 吉
	令和6年度掛川市一般会計補正予算（第4号）について	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	掛川市国民健康保険条例の一部改正について	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	掛川市都市公園条例の一部改正について	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について（掛川市生涯学習センター）	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について（掛川市美感ホール）	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	公の施設の指定管理者の指定について（掛川市文化会館シオーネ）	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	令和5年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	令和5年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	令和5年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	令和5年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	「認第1号 令和5年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について」に対する附帯決議	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

*議長(松本 均)は、採決には参加しません *SKK ▶ 市民派・公明倶楽部 共産 ▶ 日本共産党議員団 共掛 ▶ 共に創る掛川 志 ▶ 志誠会

国へ意見書を提出

掛川市議会では、令和6年9月30日に以下の意見書の提出について全会一致で可決しました。

訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬の見直しを求める意見書

- 1 訪問介護費の基本報酬の引き下げを撤回すること
- 2 介護報酬の制度設計を見直し、事業規模や地域の実態にあう再改定を早急に行うこと

地震財特法の延長に関する意見書

地震対策緊急整備事業計画の根拠となっている「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」を延長するよう強く要望する。

GIGAスクール構想による一人一台端末や通信環境の整備・維持、ICTを活用した教育の振興のため、恒常的な国の支援策創設に関する意見書

- 1 一人一台端末（タブレット端末）の恒常的な整備・修繕・更新に関する国の財政支援措置を継続的に講じること
- 2 学習ソフトウェア・ハードウェアの購入およびアップグレードに係る経費の補助制度を拡充すること
- 3 通信費に対する財政支援措置を拡充すること

■文教厚生委員会が全会一致で採択

訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に働きかけることを求める請願書

■環境産業委員会が賛成少数で不採択

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

市議会役職の変更

8月30日の本会議において、山本裕三議長の議長辞職及び議員辞職が許可され、松本均議員が議長に選出されました。また市議会役職について、以下のとおり変更がありました。

議会運営委員会委員長に藤澤恭子議員、副委員長に山田浩司議員が選出されました。

組合議員については、掛川市・袋井市病院企業団議員に富田まゆみ議員が選出されました。東遠学園組合議員、東遠地区聖苑組合議員、掛川市・菊川市衛生施設組合議員、小笠老人ホーム施設組合議員及び東遠工業用水道企業団議員に松本均議長が選出されました。

この度、8月定例会におきまして、議員の皆様のご推挙を賜り、第15代掛川市議会議長に就任させていただきましたこととなりました。身に余る光栄とともに、その責任の重さを痛感しております。

掛川市は、少子高齢化や空き家対策、地震や台風・防災対策、子育て、教育の充実や学校再編、産業の活性化など多くの課題があります。これまで以上に、掛川市が活力と魅力にあふれ、安全で住みやすいまちづくりを進めていくことが、全市民と行政と議会の一致した願いであります。

二元代表制の一翼として、市政発展のために全力で市民の声をしっかりと拝聴し、当局と議論を重ねるとともに、英知を結集して課題解決に努め、市民にますます信頼される議会として取り組んでまいります。

今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



議長
松本 均

市民派・
公明倶楽部
窪野 愛子



窪野議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



こども家庭センターは機能集約型が理想では

Q 妊娠期から子育て期を切れ目なく、一体的、包括的に支援する体制強化を図るには、当事者の目線や気持ちに寄り添うために、分散型ではなく機能集約型が理想と思うが、いかがか。



センターを一体型にし、相談窓口の集約化を検討する

A 令和6年4月に設置された「掛川市こども家庭センター」は、妊娠期から子育て期までの相談や支援を行い、子どもを取り巻く環境の変化に合わせ保護者や生活の課題にも対応している。市民の要望にこたえるため掛川市こども家庭センターを一体型にし、子どもに関する相談窓口の集約化を検討している。

乳幼児健診を5歳児にも実施すべき

Q 言語の理解能力や社会性が高まり、発達障害がより認知される時期でもある5歳児に対しても健診を実施すべきと考えるが、いかがか。

県や医師会等と協力し健診実施や体制整備を検討する

A 国で、個々の発達を早期に把握し、子どもとその家族を必要な支援につなげることを目的とする「5歳児健康診査支援事業」が創設され、支援を受けられるようになった。掛川市では5歳児健診を有効と考えているため、今後は県や医師会等の協力を得ながら、健診実施やフォローアップ体制の整備を検討する。

【その他の質問事項】

・防災力を高める取り組みについて

新しい風
嶺岡 慎悟

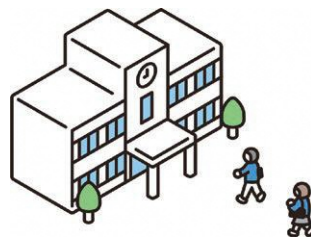


嶺岡議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



原野谷学園小中一貫校の今後は

Q 原野谷学園小中一貫校は、市として原野谷中学校敷地への建設を決定したが、原谷地区から原谷小学校敷地への建設を求める要望書が提出された。地域の同意をどのように捉えているのか伺う。



原谷地区に市長が直接説明へ伺う提案をしている

A 学校再編の推進には、保護者、区長会やまちづくり協議会等の地域を代表する組織の同意が必要だと考える。検討委員会には、地域組織の代表者にご参加いただき、検討を重ね、要望があった早期着手の条件を満たしていたと認識し

ている。今回の要望には、市長自らが直接原谷地区に説明に伺う提案をしている。

基本設計と実施設計を一括発注する考えは

Q 小中一貫校は、一校あたり数十億円の建設費が想定される事業である。魅力ある学校づくりのため、基本設計と実施設計を一括発注する考えはないか伺う。

コンセプトや工事の品質が担保されれば可能と考える

A 基本設計は、地元と市のイメージを共有化するため、住民や施設利用者等の意見を踏まえ、大まかな仕様を決める。実施設計は、基本設計を基に、業者がスムーズに着工できるよう詳細に設計する。小中一貫校建設での一括発注は、コンセプト作りのプロセスが確実に担保され、かつ公共工事の品質が適切に確保されれば可能と考える。

創世会
石川 紀子



石川議員のすべての
一般質問が視聴
できます



安心して子育てができるまち
づくりのために

Q 令和8年度から導入される「こども誰でも通園制度（仮称）」は、生後6ヶ月から3歳未満児や障がいのある子どもも利用できるが、保育士をどう確保していくのか伺う。



**お仕事応援相談会等により
保育士確保に努める**

A 余裕活用型を基本に制度運営を検討しており、現在従事している保育士の範囲内で実施可能である。保育士確保が必要な場合は、市内の保育施設と保育士をマッチングするお仕事応援相談会や就職応援資金貸付制度を活用する。また、

長期的な保育士確保のため、高校生を対象とした「乳幼児ふれあい体験」を実施し、保育士希望の醸成を図る。

安全・安心な通学路の整備を

Q 学校再編に向けた通学路の整備にあたり、車優先ではなく、歩行者や自転車優先の整備を進めていくべきと考えるが見解を伺う。

各団体や関係者と連携し、利便性や安全性の向上に努める

A 歩行者や自転車利用者の視点に立ち、交通事故のリスクを低減させることが重要だと考える。候補地選定の段階から教育委員会と連携し、地域の関係者や公安委員会と情報共有を図り、整備方法を検討する等、通学路の利便性や安全性の向上に努める。

創世会
山田 浩司



山田議員のすべての
一般質問が視聴
できます



子どもたちのタブレット端末
更新を

Q 市内の小中学生に一人一台端末が貸与され5年が経過し、更新を迎えようとしている。一人一台端末の次期更新に向けた具体的なスケジュールについて伺う。



児童生使用予備端末と指導者用端末

**令和8年度から確実に5年間
使用できるよう更新していく**

A 令和7年度に端末調達と設定作業を完了し、令和8年度から次期端末の使用を計画している。端末は共同調達会議、周辺機器等は自治体ごとに調達する流れである。一人一台端末は多様な学びを

支援する重要なツールのため、令和8年度から確実に5年間使用できるよう更新していく。

マーケティング人材の登用を

Q 現在、市役所では様々な専門分野の外部人材を登用している。職員が情報収集スキルを身に付け、市役所全体でデータに基づく事業推進を図るために、マーケティング部門に特化した外部人材の登用について、見解を伺う。

経営戦略に従い積極的に登用する

A 掛川市では副市長をはじめ10人ほどの外部人材が、市の経営戦略に基づき業務を行っている。専門的知識と経験を駆使した経営戦略を組み立てることで、必要な業務を円滑かつ効果的に実行できる。外部人材を積極的に登用し、より魅力あるまちづくりの推進や、職員の意識高揚およびスキルアップを図る。

日本共産党
議員団
勝川志保子



勝川議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



学校再編は地域の実情を反映
させて柔軟に

Q

人口動態も不透明な中、長寿
命化や段階的再編、小中分離
型など柔軟な選択肢を視野に入れ、
地域合意を前提に地域に根ざした学
校再編を目指すべきではないか。



通学の仕方大切な課題

望ましい教育環境に早期に移
行できるように進めていく

A

既存の中学校区を基本に、地
域との話し合いで再編を進め
ていく。小中一体校に固執せず、統
合や再編を組み合わせる予定で、再
編が後年次となる学校施設は「掛
川市学校施設長寿命化計画」と再
編計画との整合性を図りながら工
事を進める考えである。

命と健康を守るため低所得世
帯へのエアコン設置助成を

Q

身の危険を感じる夏の暑さで
熱中症による救急搬送が相次
いだ。市民の命と健康を守るために、
エアコンのない低所得世帯への設置
助成を市の責任で行えないか。

国に支援制度の創出を求めて
いく

A

現在、低所得世帯への助成制
度は考えていない。過去には
住民税非課税世帯を対象に給付金
を支給している。熱中症対策は国
全体の問題のため、新たな支援制度
の創出を求めていると考えてい
る。

【その他の質問事項】

・「掛川市こども計画」を実効性の
あるものにするために

創世会
安田 彰



安田議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



街頭防犯カメラ設置による
地域防犯力の向上を

Q

市内小中学校の通学路を点検
し、防犯カメラが効果的と認め
られる場所に計画的に設置すること
で、地域防犯力の推進が図られると
考えるが、見解を伺う。



防犯カメラの設置を知らせる看板

必要性が高い箇所へ設置を促
していく

A

通学路点検で現地確認を行
い、交通安全上危険と思われる
箇所を抽出し、対策が必要か確認
している。今後は、防犯の視点から
の危険箇所も抽出していきたいと考
える。必要性が高い箇所については、
自治会に対して設置を促す。

宅配便の再配達を減らして
「環境日本」のまちへ

Q

市民の宅配便の再配達を減ら
す意識を高める上で、宅配ボッ
クスの購入補助や置き配専用バッグ
の無償配布が防犯対策も含め有効と
考えるが、見解を伺う。

市民に宅配業界の現状を知っ
てもらおう啓発を行っていく

A

市民に物流業界の人手不足や
宅配業界の様々なサービス
を知ってもらうなどの啓発を行い、
市民の再配達を減らす意識を高め
るとともに、宅配ボックスの補助
制度等についても研究していく。

新しい風
藤澤 恭子



藤澤議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



子どもが主体的に危機管理意識を持つために

Q マンネリ化や形骸化しがちな防災訓練に、子どもたちが主体的に考え行動できる訓練を取り入れるべきでは。



子どもたちの主体性を持たせた訓練をお願いしていく

A 防災訓練は、災害の想定と継続が大事であり、訓練を繰り返すことにより、素早く行動できるようになる。しかし、訓練内容のマンネリ化を耳にすることもあり、今後、各自自主防災会が考える訓練項目に、子どもたちが主体性を持つことができる内容の追加をお願いする。

通学時の熱中症対策は

Q 児童生徒の通学時の熱中症対策は十分か伺う。

水分補給をしながら登下校するように指導している

A 市内の小中学校においては、「熱中症対応マニュアル」を作成し、登下校時の帽子の着用や日傘の使用等、様々な対策を行っている。また、必ず水筒を持参させ、水分補給を行いながら登下校することを指導している。さらに、熱中症指数や暑さ指数で危険と認めた場合には、下校時間を検討し、安全を確認して下校させている。

【その他の質問事項】

・掛川市の多文化共生の充実について

日本共産党
議員団
大井 正



大井議員のすべて
の一般質問が視聴
できます



希望する全中学生がクラブ活動に参加できる保障を

Q 令和8年8月の中学校部活廃止を受け、発足する地域クラブの種目数、活動単位の数や受け入れ可能人数は、子どもたちの希望を満たす数となるのか伺う。

適正な数のクラブを創設する

A 現在、スポーツ・文化を合わせ公認地域クラブは39クラブある。さらに創設予定の32クラブに加え、申請中の公認地域クラブもあり、多種多様な子どものニーズに応える準備をしている。中学生を受け入れるクラブ数は現時点では満たしていると思うが、9月にアンケート調査を実施して、適正なクラブ数を決定し、子どもの居場所ともなるようなクラブを創設する。

生ごみを有効利用する具体的な施策確立を

Q 生ごみのリサイクル方法について、オーガニックビレッジ宣言をしたまちとして、有機肥料や堆肥として活用し、農業との協働をすべきと考えるが、見解を伺う。



農業・環境両面での研究を進めていく

A 令和5年度に実施した「おむつリサイクル・ごみ減量推進会議」から、資源を再生産する仕組みの構築について提言を受け、有機農業での活用を検討する必要があると考えている。資源化手法は、バイオガス発電による液肥生産や堆肥化等が考えられるが、農業における需要、販路の確保、処理コスト等の課題があり、農業と環境両面での研究をしていく。

共に創る掛川
富田まゆみ富田議員のすべての
一般質問が視聴
できます誰もが同一の正しい災害情報を
受けられるように

Q

災害情報の発出は、高齢者、外国人、ろうあ者等も不安なく行動に移せる情報発信が重要である。同報無線と市公式LINEの工夫や多言語化も必要と考えるが、見解を伺う。

市ホームページや複数の手段
で情報発信をしている

A

災害時は、すべての方へ情報を届ける必要があるため、多様な言語への互換性を備えた発信や、同一情報を複数手段で発信する必要がある。現在、掛川市在住外国人の国籍上位10か国語への翻訳機能を備えた市ホームページへの誘導を基本とし、同報無線放送や各種SNSで情報発信をしている。

外国人児童生徒への支援を積
極的に進めるべき

Q

円滑な授業運営のために、日本語習得の不完全な児童生徒への支援策として「母国からのオンラインによる個別授業」は非常に有効で、積極的に導入すべきと考えるが、見解を伺う。

試験運用から課題を把握し、
導入を検討していく

A

日本語が上達するまでの学習支援として「母国語でのオンラインによる個別授業」の試験運用を、9月下旬から委託先や学校との調整後、順次市内4校をめどに実施予定である。先進的な取り組みであるため、試験運用の中で課題を把握し改善等を図り、積極的な導入を検討していく。

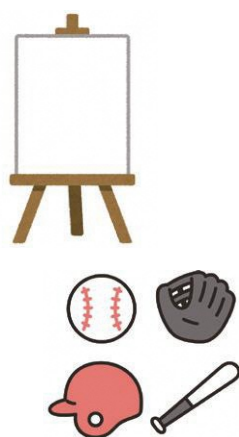
【その他の質問事項】

・学校再編について

創世会
橋本勝弘橋本議員のすべての
一般質問が視聴
できます部活動の地域展開における
困窮家庭への支援は

Q

受益者負担を強いる場合は、公的サービスとの適切なバランスが重要である。誰もが等しく地域クラブに参加するためには、困窮家庭の支援が不可欠であると考えるが、見解を伺う。

就学援助の適用について協議
を進めている

A

今冬に地域クラブ就学援助検討会議を実施する予定である。経済的な理由で、本人が望む文化・スポーツ活動等を諦めることがないよう、就学援助の適用についても協議を進めている。

中山間地域の現状を踏まえた
総合的な施策の推進は

Q

中山間地域の土砂災害防止機能等の重要性を踏まえ、掛川市の均衡ある発展のためにも、総合的な施策が必要と考えるが、見解を伺う。

辺地総合整備計画の策定に併
せ準備を進める

A

中山間地域のまちづくりの推進には、地域の主体性を尊重し、地域住民の意見を集約する必要がある。中山間地域の課題解決には様々な要素が複雑に絡み合っており、総合的な指針が必要であるため、令和7年度の辺地総合整備計画の策定に併せて準備を進める予定である。

【その他の質問事項】

・障がい者歯科医療の重要性について

今後の議会予定

11月

5日(火)9:00 ○全員協議会
13日(水)9:30 ○本会議(開会、議案の提案説明)
25日(月)9:00 ○本会議(会派代表質問)
26日(火)9:00 ○本会議(一般質問)
27日(水)9:00 ○本会議
(一般質問、議案質疑～委員会付託)
本会議終了後 ○予算決算委員会

12月

2日(月)9:00 ○文教厚生分科会、文教厚生委員会
3日(火)9:00 ○環境産業分科会、環境産業委員会
4日(水)9:00 ○総務分科会、総務委員会
11日(水)9:00 ○予算決算委員会
17日(火)9:30 ○本会議
(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)

1月

17日(金)9:00 ○全員協議会

※10月7日現在の予定です。今後変更される可能性があります。

議員研修会

掛川市議会では議員の能力向上を図るため、議員研修を行っています。

令和6年7月18日、静岡県市町議会議員研修会では、経済ジャーナリスト・作家の渋谷和宏氏から、コロナ後に輝く地域・リーダーの条件について講演を聞きました。

令和6年7月31日、第18回東遠議員交流フォーラム研修会では、関東経済産業局地域経済部企業立地支援課及び静岡県経済産業部政策管理局産業政策課から、地域未来投資促進法について講演を聞き、他市議会と意見交換等を行いました。

令和6年8月9日、掛川市議会議員研修会では、(株)あらまほし代表取締役の戸田佑也氏から、プレゼンテーションについて講演を聞きました。

今後、議員研修会で学んだことを議会活動に生かしていきます。



掛川市議会議員研修会にて

傍聴席

質問する議員と内容に応じて議会の傍聴に参加しております。
限られた時間内で質問し納得できる回答が得られているか、疑問を感じます。30分という質問の時間を活かすには、もう少し課題を

限定して市側の誠意ある回答を求めた方がよいのではないかと思います。
質問が多岐に渡ると、持ち時間の少なさに問題点が分散し回答も通り一遍で終わっているように見受けられました。

榛葉勝明(満水区)

膨大な市役所の仕事があふれにわたったのか。来年度に生かす総括である決算に議会としても向き合いました。市民の皆さんの思いは反映され、要望は実現できたでしょうか。議会を通して市政にご参加ください。

議会だより編集特別委員会

委員長 勝川志保子

編集後記

今号の表紙は、静岡県立掛川特別支援学校今駒勇斗さん、佐藤 昊さんの作品です。
「二人でそれぞれ題字とキャラクターをデザインし、合成しました。題字は、掛川茶をイメージして描きました。マンホールの周りには、お茶の妖精です。」



こんま ゆうと
今駒勇斗さん

さとう ぞら
佐藤 昊さん

今号の表紙



秋葉路区域マンホールのふた

